

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 3 区分  
【発行日】平成25年7月18日 (2013.7.18)

【公開番号】特開2013-107204(P2013-107204A)  
【公開日】平成25年6月6日 (2013.6.6)  
【年通号数】公開・登録公報2013-028  
【出願番号】特願2013-48524(P2013-48524)  
【国際特許分類】

**B 2 4 D 3/00 (2006.01)**

【F I】

B 2 4 D 3/00 3 1 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月4日 (2013.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

台金の外周に、ダイヤモンド砥粒とボンド材との焼結からなる砥粒層が周方向にセグメント状に隙間をもって配列形成され、これら砥粒層のセグメント間の上記各隙間にビトリファイドからなるボンド材の焼結からなるボンド層が充填され、研削作用面が周方向において、砥粒層とボンド層とが交互に配列して、連続に形成されたダイヤモンドホイール。

【請求項 2】

砥粒層のボンド材がメタルボンド材からなる請求項 1 に記載のダイヤモンドホイール。

【請求項 3】

砥粒層のボンド材がレジンボンド材からなる請求項 1 に記載のダイヤモンドホイール。

【請求項 4】

台金がカップ状である請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のダイヤモンドホイール。

【請求項 5】

台金の外周がペンシルエッジ状であって、ダイヤモンドホイールが面取り用である請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のダイヤモンドホイール。

【請求項 6】

台金が円盤状であって、ダイヤモンドホイールがカッティング用である請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のダイヤモンドホイール。

【請求項 7】

台金がストレート円盤状である請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のダイヤモンドホイール。